

## 令和元年度第2回長崎市総合教育会議 会議録

- 1 日 時 令和2年2月3日（月）15時00分～15時35分
- 2 場 所 長崎市立片淵中学校 2階会議室
- 3 出席者 **【市長】**  
田上市長  
**【教育委員会】**  
橋田教育長、中西委員、坂本委員、小原委員、桑原委員、松本委員
- 4 事務局 **【市長部局】**  
企画財政部都市経営室長、同室主幹、同室係長  
**【教育委員会事務局】**  
教育総務部総務課長、同課総務係長  
学校教育部長、同部学校教育課長、生徒指導係長、同課主任指導主事  
片淵中学校校長、同校教諭
- 5 次 第  
(1) 開会  
(2) 内容  
①キャリア教育に係る授業についての意見交換  
(3) 閉会
- 6 議 事 以下のとおり

事務局 (市長部局)	<b>【15:00 開会】</b> ただいまから、令和元年度第2回長崎市総合教育会議の意見交換を開催いたします。本日は、片淵中学校から校長先生、担任の先生にご出席いただいております。それでは、市長から進めさせていただきます。
市長	早速ですが、先ほどのキャリア教育に係る授業をご覧いただいたうえで、意見交換を行いたいと思います。 まずはじめに、片淵中学校の校長先生と、担任の先生から、今日の授業までの取組みのねらいと授業を实践した成果、あるいは、課題などについて、実感も踏まえてご説明をいただければと思います。よろしくお願ひします。

<p>校長</p>	<p>今日までの経緯ということでしたが、資料の1ページをご覧ください。職場体験を組む場合、7月の夏場から子どもたちの希望をとり、職場を探し始めます。ある程度のところで子どもたちも電話で事前に連絡をとったり、訪問してお願いをして職場体験に行くこととなります。「キャリア教育」という大人の世界の難しい部分はさておいて、子どもたちからすれば、初めて大人が働いている生の職場で勤務をするので、日頃の授業とは違った次元の子どもたちの職場体験に対する思いや、考えなどがあるんだろうなど。そこも一方では大事にしたかったですけれども、今回、このような授業見学の話をしていただきましたので、いつもの職場体験プラスアルファ、つまり、そのプラスアルファというのは、長崎ですよ。この長崎で頑張っている大人たちをしっかりと見て来るように。長崎のためにどれだけの大人がどのようなところで頑張っているのか。「思い」をできるだけ聞いてきてほしい。その1点を校長としては願い、担任、子どもたちに託して、今日の授業になったわけですが、そうした中で、子どもたちの実態、中学生がこんなことを考えてきたことを思い、想像してるんだというところを、皆さんに幾らかでもお感じいただけたのではないかと思います。</p>
<p>市長</p>	<p>ありがとうございました。</p>
<p>教諭</p>	<p>子どもたちに中学時代の一番の思い出を聞くと、多くの生徒が修学旅行、部活動と答えます。この子たちは1年生のころから担任させていただいて、この職場体験のことを1年生のころからずっと話してきました。</p> <p>何のために行くのかということ、高校受験なども含めて、職場体験の意義、自分が将来なりたい仕事を見つけにいくという感覚を持たせたいと思い、1年生のころからしつこく言ってきました。</p> <p>修学旅行は10月、職場体験は1月にありましたが、子どもたちに中学時代の一番の思い出について、ついこの間アンケートをとったというものもあるんですが、職場体験と答える子がたくさんいましたので、やってきたことは間違いではなかったかなと思っています。</p> <p>そのための準備として、とにかく今なりたい仕事を頭の中から絞り出すということ、去年の2月ぐらいからずっとやってきました。保護者ともたくさん話をしてもらい、ここに職場体験に行きたいというのを全員に出させました。何となくこんな感じではなく、こういう仕事というのを書かせて、最大限実現しようと思っていました。二人だけ長崎にない職場だったため、希望とは違う職場に行きましたが、ほとんどの子どもは、なりた</p>

<p>市長</p>	<p>い仕事に行かせることができましたので、そこは学校側の努力次第で何とかなるなと思いました。なりたい仕事ではないところに行かせるのではなく、自分が少しでも興味がある仕事、やってみたい仕事のところに行かせることができたので、感想や体験の姿も非常に熱心に一生懸命頑張っ子どもたちは取り組んでくれました。そのため、今年は職場の方の評判もとてもよかったです。</p> <p>ただ、元気がないということは本校の一つの課題です。学校内では騒がしい時もありますが、一歩外に出ると貝のようになってしまう子がたくさんいるので、そこが一つ課題かなとは思っており、それは職場体験でも同じです。</p> <p>職場体験としては、ねらいどおりいったのかなと私としては思っています。今日の授業がそれをうまく引き出せたかどうかはわかりませんが。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>ここまでくる過程が大変だったのだろうと、一人一人の希望まで聞いていたら、すごく大変な作業だったのだろうと改めて思いますが、授業を見学しての感想、あるいは、今後に向けて進めていくうえでのご意見を、一人ずつお伺いできればと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>すばらしい授業に参加させていただき、ありがとうございました。</p> <p>特に、先生のお力のおかげだと思うのですが、子どもたちの積極性、一人もお客樣的な子どもがいないということに非常に驚き、また、頼もしくも思ったところです。</p> <p>二人だけ希望の職場がなかったということですが、受け入れ先の確保について、例えば、商工会議所など協力いただけるような機関はあるのでしょうか。あるいは、先生が一つ一つご苦労されているのかお聞きしたい。</p>
<p>教諭</p>	<p>一つは、東部地区の学校の職員間で作成しているこれまで職場体験の受け入れをしていただいた職場の一覧があるので、基本的にはその中から見つけました。その中になかった職業については、タウンページから拾いながら片っ端から電話をかけました。</p> <p>ただ、ものづくりの工場などは子どもたちにさせることがないということで断られることがほとんどで、将来、工業へ進んで長崎でものづくりをしたいという、例えば、造船などを希望している子もいるんですが、受け入れていただけなかったのが、第2希望に行きました。基本は資料がある中で電話をかけているという状況です。</p>

委員	<p>私自身が商工会議所のメンバーですが、ここ一、二年、商工会議所の中でも、いわゆる目先の労働力確保という視点から、随分、昔と意識が変わってきていて、子どもたちに仕事を見てもらうことが長い目で見ると、人材確保のプラスにもなるというふうに、スタンスが少しずつ変わってきているので、先生方が職場体験の場の確保などに、大切な時間、労力を使われることがないよう業界にも働きかけていきたいと思います。</p>
委員	<p>今日はありがとうございました。最後に子どもたちが市長の話を書く時の姿勢など、本当に目がキラキラ輝いているなという感じの印象を受けて、とてもすばらしい授業だったなと思います。</p> <p>お聞きしたいのは、二人だけ希望がかなわなかったという仕事は何だったのかということと、「間近でプロの仕事が見られてよかった」「背中を見て学ぶことがあった」など、発表した子どもたちの感想がすばらしいなと思っていて、そういうことを保護者の方にも発信されているのかをお聞きしたいと思います。</p>
教論	<p>2件はどちらもものづくりです。一つは造船で、もう一つがパソコンの中身、ICの部分の組み立てをしたいということだったんですが、つくる方だったもので、危ないのでどうしても体験させられないということで断られました。</p> <p>保護者へ発信については、子どもたちの職場体験のしおりに保護者からコメントをもらっています。子どもたちがこんな感想を書いているので見てください、保護者から一言くださいというのを集めています。大体が学校ではできない体験をさせていただきありがとうございましたという言葉をいただいています。</p>
委員	<p>キャリア教育、この職場体験に関する中で、「長崎を思う」というテーマを持ってこられたというので、どういう流れになるのかなと思いながら見させていただきました。キャリア教育イコール長崎を知る、思う、愛する、そして、長崎に住むというような思いを込めての教育行政の思いだと思いますが、それに職場体験というのをもって、職場体験は先ほど先生がおっしゃったように、「自分の将来を」「自分の仕事を」という、自分のところから、長崎をというのにもっていくのは、とても難しかったんだろうなというふうに感じました。子どもたちの授業での発言や思いなどはとてもレベルが高く、自分の思いをきちんと伝えられるんですが、先生が一番引き出したかった「長崎」、長崎ってこういうまちだから、どうしたらいいだろうねという意見についての少し深まりが残念ながら</p>

	<p>かったかなど。やはり、それはとても重要な二本立てを一緒に持つていくというところに、少し無理があられたのかなど。当然、今日は私たちが見学に来るということで、授業に無理をされたんだろうなというような思いがありました。ただ、子どもたちは与えられた課題を今の自分たちの力と考えをもって一生懸命考えているという、さすが、ここ片淵中学校の子どもたちだと感動させていただきました。ありがとうございました。</p> <p>キャリア教育、子どもたちにとっての将来にかかわる教育のありようがいろいろ言われていますが、私はやはり、夢や目標を持たせるということがまず根底にあるんですが、その夢や目標について、僕らの時代もそうですが、自分のためですよね。自分がプロ野球選手になりたいとか、自分がこういう世界で活躍して有名になりたいとか、今からの子どもたちに託すものは、そのあなたの夢や目標は自分のためだけではないですよ。あなたの夢や目標は、社会のため、人のため、誰かのために、あなたの持っている力をどのように使うのか、役立てていくのか、役立つ人間になるのか。そういう部分を大事にさせなければいけないなというのが、これからの教育のありようだと思います。</p> <p>そういう意味でも、うちの学校の校訓、生徒像には「自分のことよりも相手や全体のことを先に考えて行動する生徒になりなさい」とあるんですが、私はそこを大事にしたいなと思いますし、キャリア教育でもうたわれているのではないかなと思います。</p> <p>まずは自立のため、そして、社会における自己の役割、そして、自らの生きがいですね。生きがいや願いと、こういったところをしっかりと、教員は心にとめて、子どもたちにぶつかっていかないと、表面だけの職場体験、表面だけの薄っぺらな進路指導になるのではないかと。もっと、大志、志の域までこのキャリア教育は高めていかなければ、世の中だめになるのではないかと、そんな危機感を持っております。</p>
<p>委員長</p>	<p>今日はありがとうございました。</p> <p>私の職場体験のイメージは、むしろ見学というイメージが強かったので、見学ではなく、実際に体験してるというところがすごく驚きで、すごくいいなと思いました。</p> <p>職場に行き、見学するだけでももちろん得ることはあると思いますが、実際にやってみることから得るものというのは、非常に大きいのではないかと思います。特に職場に行ってみる感じることありますよね。すごくいろんなことを感じることは大事なのではないかと思っています、体験することによって感じ方というのは大分違うのではないかと思っています。実際に、三日</p>

<p>教 諭</p>	<p>間体験してきたというのはすごく素晴らしいことだなと思います。</p> <p>それから、先ほど1年生の時から将来やりたい仕事を考えさせて、今回の職場体験も将来やりたい仕事を見つけに行かせるんだということだったかと思いますが、自分のことを振り返ると、中学校の時に将来やりたい仕事というのを考える機会があったと思いますが、具体的にこれだということを見つけて、それを実際にその職場を見に行くということをするという経験はなかったので、もちろん進路変更はあるんでしょうが、早い段階からそういうことを深く考えて、一つに絞り出していくのは、生徒にとっては将来につながるいいことなのではないかなと思って見ていたところでした。</p> <p>最後に、今日の授業の最後で予告編的に、今後また何かおもしろいことをやりますという話があったと思いますが、今後の授業展開について教えていただきたい。</p> <p>せっかく市長に来ていただいたこともあり、本当は最後に中学生の立場から見た長崎市をよくする提言を書かせるところまでしたかったなというのがありまして、例えば、高齢化について、今日は班で3、4分しかできませんでしたが、自分たち個人でしっかり考えて、提言をつくってみようというのを、最後に盛り込んでいました。時間的に無理があるなと思ったのですが、できるところまでいければいい、黒板に一つでも提言を書いて、市長に持って帰っていただくというのが一番理想的な形かなと思って、仕上げてきたのですが、そこまでいかず、最初がちょっと長過ぎたなと思います。</p>
<p>委 員</p>	<p>一人一体験しかできないので、このようにみんなの体験を開き合うというのは、幾つかの体験を共有できたのでいいのかなと思いました。</p> <p>先ほどできない仕事の話がありましたが、場合によってはDVDなどを撮影する。消防署に職場体験に行っていましたが、許されれば火事場などの危険な仕事や、時期的に1月にできない仕事、あるいは、うちの地区にない仕事、例えば三重地区の漁協市場などをDVDで撮ってくるなど、仕事は他にもまだいっぱいあるというのも、直接ではないが間接体験ができていいのかなと思いました。</p> <p>「長崎LOVERS育成プログラム」の長崎を好きになろうということで、仕事はもっとたくさんあるよというのを紹介する形では、実際できないがDVDで体験してみるなど。</p> <p>それから、先生のお話に、まず仕事を選ぶということだったんですが、まず、人のため世の中のために、どう生きるかということで、例えば、人</p>

	<p>の命にかかわりたいとなれば、医師もいる、看護師もいる、介護、消防士、警察などがある、そこから選ぶとか。あるいは、ものづくりであれば、こんな仕事があるとか。あるいは、食べ物、食品をつくりそれで人を喜ばせたいのであれば、どんな仕事があるのかなという、そこから入っていてもいいのかなと思いました。</p> <p>それから、故郷に錦を飾るという言葉がありますが、一旦、外に出て、いや、故郷に残って錦を飾るという考え方はどうなんだというのがあってもいいのかなと思う。AIの話もありましたけど、そうであれば、長崎でできる、つくる、起業するわけですよね。では、どうやってそれを長崎に残って錦を飾れるような、そういう切り口もあっていいかなと。</p> <p>キャリア教育全体として、一つの学校だけではなく考えていく方法かなと個人的には思いました。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>担任の先生の熱意が非常に伝わった授業だったなと思います。1年生の時から、しっかり、真剣にまず子どもたちに考えさせて、具体的につきたい仕事からというところが今日の授業につながったのかなと思います。</p> <p>まず、職場の方からのコメントを見た時に、非常に、真剣にコメントしてくれていらっしゃるの、これは多分、子どもたちが真剣に体験をしたからなんだろうというふうに思いましたし、そういう意味では非常にいい授業だったと思います。</p> <p>「長崎LOVERS育成プログラム」に関していうと、職場や地域の課題を自分のこととして捉えて、社会に貢献する意欲を高め、自分事として捉えるということのねらいがあるので、そういう意味では、そこにもかなっているような取組みをしていただいた。ちょっと、時間が足りなかったの、次の授業も楽しみにしたいと思っています。</p>
<p>市 長</p>	<p>少し感想を述べさせていただくと、まず、感じたことの一つは、子どもたちと先生の関係がすごくいい関係だなということ。最初、笑いから入られて、すごく雰囲気がいい感じに最初つくられて、授業のつくり方も、すごく力がある先生だなと思いながら見せてもらったんですけど、今度のしくみにしても、自分で仕事を選ぶというのは、一つすごく大事なポイントで、自分事にしていくポイントであるんだろうなと思うのですが、それはやっぱり思いが入るからですね。それから、イメージを持っていくでしょうから、ギャップも感じるができるという意味でも、そういう方法もあるのかなと思う一方で、委員が言われた、仕事を選ぶ時に、やったことがないテレビだけで見たことがある仕事など、今からますますふえてくるという中で、そういう仕事にも興味がある子たちがふえてくる中では、仕</p>

事の選び方もこれからは考える余地があるのかなと思いました。

この前、小学生の子どもたちのまちづくりアイデアコンテストをしたんですが、その時に「軍艦島に自分は住めないから、自分のアバターを住まわせて、その人を通して軍艦島で暮らす体験をする」というような提言をしてくれた子がいて、コンテストが終わった後にその子が、もしこのプロジェクトを本当に進めてくれるのであれば、自分もメンバーに加えてくださいというようなことを直接言ってきたんです。

長崎に「GEUDA」というすごく最先端のプロジェクトがあり、若い人で、世の中、この問題を解決したいと思って、本当にやる気がある子は、そこに行ったらお金の面など心配なくてよく、情報もくれて、そこでそれを研究することができる。しかも、いろんな仲間と一緒に違うテーマを持ってる仲間とやれる「GEUDA」というチームがあり、その子を、その人に会わせたそうです。すると、「あなたのアイデアはもう既に実現しているので、アイデアとしては新しいアイデアではないけど、こんなことしたらもっとすごいことがあなただったらできるよ」というようなことをアドバイスしてくれて、保護者も含めてすごくいい体験になったらしい。

そういう長崎で新しいことをやろうとしている、新しい時代の新しい仕事を目指そうとしている人たちに会ってもらうことで、いろんな子たちが刺激を受けて、自分はこれまでこういう仕事があると知らなかったけど、こんなふうに世の中との関り方をしてみたい。自分も何か解決してみたいとか。そういう子たちも生まれてくる可能性が長崎でもあるんじゃないかなと思ったりして、そういう出会い方もあるんじゃないかなと。

今回の、いろんなことを一度にできないので、職場体験と長崎をというテーマが二つあって、職場体験と長崎を組み合わせるんだったら、自分たちの地域がいろんな職場の人たちに支えられてる、この人たちが一生懸命仕事をしてくれることで、長崎が支えられてる、自分たち、自分のふだんの暮らしも支えられてるということを感じるという部分は、すごく大事な部分だろうと思うので、少し欲張らないやり方もあるのかなと、委員と少し似てるんですけど、感じました。

でも、最後にちょっとお話しさせてもらったように、子どもたちにとって、この体験は多分すごくいい体験だと思います。これが今回、入り口で、こういう体験をもっともっといろいろやっていくと、自分がどんどん広がって行って、本当に世の中の力になれる人に育っていける入り口の体験としてすばらしい体験をさせてもらえたんじゃないかなと、すごく感じました。

やっぱり、教育委員会とか人が見に来るとなると大変ですよ。

校	長	楽しみにしていました。今日は見学に来たいという保護者の方もいらっしゃって、今朝も数件電話がありました。今日のご遠慮いただきました。保護者の方にも学校だよりで今日のこともお伝えしようと思っています。
委	員	中学生がこういうふうを考えている。職場体験一つでもこんなふうに、ここまで考えられるというのを知らない保護者も多いと思うので、知ったらもっとすごく、保護者も子どものかかわりが変わってくるんじゃないかなと思います。
委	員	一つお尋ねですが、保護者の方というのは子どもたちにとって、一番身近な働く人という存在だと思うんですが、いわゆる職場体験のことなどが家庭で話題になったり、あるいは、職場体験をしたがゆえに、保護者に対する子どもたちの見方が変わったとか、そういうことが何かあれば聞かせていただきたいと思います。
教	諭	保護者の方からのコメントの中に、「朝、目覚めたら、今日の朝ご飯は俺がつくるからと、一日ですけどやってくれたんですよ」というのもありました。だから、お母さんたちがきつい思いをしているというのを子どもたちもわかった。「たった一日ですけど、続けてほしかったですね」というただし書きが。他にも、「今まで全然学校の話をしていないのに職場体験の話は家でたくさん話をしてくれた」など、早く帰ったというものもあるんですが、会話はたくさんありましたというコメントもいくつかありました。だから、家でもすごくいいきっかけになったかなと思います。
委	員	子どもたちが職場体験で市内を移動する際の交通費などは、どうされていますか。職場体験にかかわる費用全般ですけど。
校	長	交通費は自前で保護者に出していただいています。
教	諭	個人出しです。一番高い子のバス代が3日間で1,500円ぐらいですね。
校	長	みんなでまとまって行く時の交通費は支援していただけるのですが、個別のものについては該当しないということで、保護者をお願いして負担していただいています。
委	員	各個人ですか。全部集めて分けるのではない。

教 委 校 長	論 員 長	<p>各個人です。交通費がかからない子もいますので。</p> <p>交通費がかからない子も集めて、職場体験として出すのかと思って。</p> <p>理解していただければですね。</p> <p>なるほど、今言われたことをちょっと勉強してみたいと思います。</p>
校 長	長	<p>職場によっては、プログラムを組んでくださっているような、職場体験に来た子どもたちにこういうことを経験させれば喜ぶ、効果的だということをおっしゃる職場もあり、本当にありがたいなと思いましたし、そこ辺りも少し整備していただくというのも、市の教育委員会など、どこかの部署で、よりよい職場体験の体制をつくっていくということで、ご尽力いただけたら助かるかなと思います。</p>
委 員	員	<p>市内のかまぼこ屋さんに、小学校の生徒がたくさん見学や体験に行くんですが、そこには担当者を一人配置しているそうです。</p>
委 員	員	<p>さきほどの受け入れができなかった造船に関してですが、長崎工業会が長崎の会社に就職してほしいということで、今、高校生とやりとりが非常に増えてきているようなのですが、長崎工業会の会長か役員の中に造船会社の会長がおられて、その方は長崎県の教育委員をされていた方なので、理解がおありだと思います。</p>
教 論	論	<p>高校生は職場体験をさせられるのでいいそうです。</p> <p>中学生はやっぱり、幼い子もいますので。どこでも見学は大丈夫と言われるんですが、体験になると厳しいですよ。</p>
市 長	長	<p>本当にすごくいい試みをされているなと思いますね。</p> <p>「長崎LOVERS育成プログラム」の部分は幅が広いので、どういふふうにとりかかっているかは、また引き続きお話しして、今回、長崎でしっかりこういう授業が行われているというのはちょっと安心しました。</p> <p>レベルの高い授業を見せていただき、ありがとうございました。</p> <p>【15：35 閉会】</p>